

- (三) 工業以外の児童の最低賃金の問題
 - (四) 船舶の災害保護條約の部分的改正
 - (五) 局長報告書の討議
- 外に十一個の決議案は全部可決した。

政治部報告

大正拾四年無産党運動の抬頭以來、労働階級の希望は極度に裏切られて組合運動に見る数倍の割合集散を現出して居る。否無産党あるが故にむしろ分裂するのであるが、恐ろしき居る。何故であるか、これこそ餘りにも労働階級の現実を知らざる理論の徒と普遍を好期とする労働者を踏ま台にせんとする議員病患者の那の多きに其の派を存するのではなからうか？

日本の内外の事情は政治的に星等の誤り水る指導者と稱算し、又國際的思想に中心を置く政府運動の如何に無価値であるかを痛感するものである。而して傍間に満ちる國家を看板に又軍部或は政府要路に只星川阿附迎合して是

を唯一の力としての自己の存在を察見せんとするは労働者に接つて危險極まる政治行動であつて断呼として反対しなすべからぬ。

突刀以つて之を思案に表現し、良く望と勵力なし得るものでなすべからぬ事を吾等は刀説する。

大正拾四年労働農民党の創立以來純聯合は、労働階級の政治的發展に努力し労働党創立其後に於ける日本大衆党、全国大衆党、全国労働大衆党等の数次合同に對しても党本部幹部の専断的、朋党的なるにもかゝはらず終始一貫戦線統一と拡大強化に努めた。或る時が重要な決議を破り、又或る時は吾等の誠意ある献言の應答を蹂躪するが如き事があるとも陰謀自重し黨が實現に勉め、而して此をいも朋党的党幹部は又これ組むし易しの認識不足より然多の選挙戦等に於て益々顯著に其弊害が甚だしく遂に関西に於て先づ党不信任を以つて其の攻撃の火蓋は切られ昭和六年十月四日、大阪中央公會堂に開かぬる全國大会に於て支持政党たる全國労働党支持取消を要求する議案を採擇し其により政治特別委員会を構成して其の善處を促したるの政治特別委員及声明書を發表した。